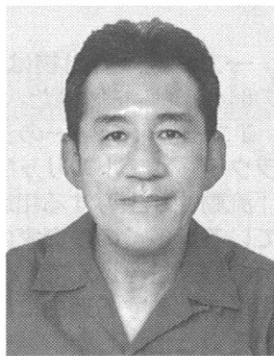


新社長

信越



日鉄工材
宮原 光雄氏

技術系のエキスパートと「けたい」。

約48億円で5期連続増収として長年培った幅広い人脈 日本製鉄で各種製品の耐久性向上に関する研究、交

堅調。 「強みは特殊合金・独自の製品設計・高精度加工技術

「ステンレス・チタンを製造に従事してきた。」「材のベストマッチでお客様のじめ特殊合金の高品質・高料、解析、溶接等多様な専門多様なニーズに合った高品質・高機能の製品を開発。」「お客様が協働し、一つのものを製造できる点。日本製鉄グループの総合力も活用し、貢献する。当社の強みと 献する喜びを経験。苦楽を 共にした仲間が分かち合っ ニーズに応じた最適な材料 け、お客 様や我々 も気づいていない

開発は団体戦、協働で課題に挑戦

未見の課題を発掘し、新たな価値を生み出す挑戦を続

喜びは格別だ」

提案と設計を行う。特にチ

「『開発や事業は個人戦ではなく、団体戦、総力戦で

ある。協働を掲げる当社の経営品質活動に力を入れて

風土にぴったりだと思ふ。」「おり、社員が協働して難し

事業分野はチタン製電着ドラム、冷間圧延ステンレス

フラットバー、配管パイプ、(顧客満足)とES(従業員満足)の向上を図る。

4人。19年3月期売上高は 座右の銘は「現状維持は

略歴

宮原・光雄氏 (みやはら・みつお)

86年京大大学院工学研究科卒業

後、住友金属工業

入社。07年総合技術研究所先進デザイン研究開発

部長、12年交通産機事業部製鋼所型鍛造品製造

部長、15年製鋼所長、日鉄住金レールウェイテク

ノス社長を兼務、17年技術開発本部フェロー(執行役員待遇)、20年4月

日鉄工材顧問を経て6月から現職。兵庫県出身。

退歩である。好きな言葉は「朗らかに清く正しく美しく」(宝塚歌劇団創設者

・小林一三氏の言)。趣味はゴルフ、テニスと宝塚歌劇の観劇。2男は社会人と

大学生。妻と2人で上越市に赴任。